

長泉町わくわく塾・伊豆八十八霊場巡礼報告書

報告者 後藤隆徳

年月日 2007年11月25日(日)快晴
回数 第7回巡礼
参加者 34名
巡礼寺 第26番・長谷寺=本尊・聖観世音菩薩 山号 根越山
曹洞宗・(善修院・末寺)
草創・不明 1521(大永元年)現在地に移す
第27番・東林寺=本尊・延命地藏菩薩 山号 稻荷山
曹洞宗・(長源寺派) 草創 1145-50(久安年中)
巡礼順 熱海・興禅寺～網代・長谷寺(ちょうこくじ)～伊東・東林寺
距離 10Km+10Km=合計約20Km
タイム 下土狩5:40-熱函道路 熱海・興禅寺発7:00-錦ヶ浦 多賀
網代 長谷寺9:20~10:00-宇佐美 伊東マリン・パーク(昼食)
12:00~13:00 東林寺13:50~14:10-伊東「山喜旅
館」(入浴)15:00~16:30-下土狩18:00
お風呂 伊東「山喜旅館」700円、休憩部屋代3000円



網代の干物屋さん

よく冷え込んだ朝だった。今回も快晴。バスは熱函道路に入り、途中でトイレタイム。丁度、富士山に朝日が当たり美しく輝いていた。

今日の行程を説明。今回は二寺で約20Km。なかなか厳しいコースだ。Kさんがお連れした、新しい仲間のFさんを紹介する。前回最終の興禅寺には予定より早く到着。バスを降り、狭い歩道で各自準備体操後出発。

すぐ先のトンネルを避け、まず錦ヶ浦に向かう。かつては「自殺の名所」で鳴らした。飛び込み防止の随分高い柵から下を覗くと、目もくらむ奈落の底に波が打ち寄せていた。

今日最初のお寺はここから10Km先で左手海の向こうの半島の先である。錦ヶ浦の歩道が終わると曾我浦大橋を渡り135号沿いに進む。この先は歩道がなく

巡礼は非常に神経を使う。その為、今回は先頭の私と最後のTさんが、「わくわく塾」の大きな旗を持つことにした。これで車をけん制してスピードダウンさせる作戦だ。結果的には、まあまあ「効果」ありだった。

ダラダラの下りで多賀に着き、近くの公園でトイレタイム。陽気も良くなり暑いのでアンダーウェアを脱ぐ。ここから感じの良い道が網代に向かう。陽光が眩しく幸せ一杯。

路傍に江戸城築城時、切り出した大きな岩が置いてあった。近くに「ナコウ山」（離山石切場）があることは、案外知られていない。

網代は干物屋が多い。ブラブラ歩き冷やかす。「カワハギの骨」が美味しそうに並んでいる。時間があればゆっくりしたいが我慢我慢。

新網代トンネルを潜る。暗く、埃っぽい。騒音が酷く、足場が不安定な最悪のトンネルだった。特にヘッドランプを点灯しない車は恐ろしい。「国道」とは名ばかりで、元々人間が歩く想定になっていない。

トンネルを抜け少しで右手奥に長谷寺の山門に続く階段が見えた。急な階段を登り奥の本堂に上がる。それ程広くない本堂だった。住職は亡くなられ不在で奥様がお寺を守っていると伺った。今日は先日書いた般若心経の「写経」を納める。読経の後はKさんの長泉町史の話を伺った。

境内には三十三観音像が静かに佇んでいた。また、東端には昔、灯台の役目を果たした燈明台が残っている。

ここから海岸沿いを伊東に向かう。すぐ先に御石ヶ沢トンネル・新宇佐美トンネルがある。後者は700m以上あるもので、その通過は「忍従」そのものだった。ただ、救いは比較的新しいトンネルで歩道が古いトンネルよりましなことだった。

宇佐美の海岸に下っていく。左手に秋葉山常夜燈があった。これは秋葉山が防火の神様で、火災から我が家を守りたい信仰の表れで各地に常夜燈を建設させたと言い伊豆では、ここ伊東市と伊豆市の二箇所にある。

海岸沿いの防波堤の下に砂浜が広がっていた。迷わず



長谷寺

宇佐美・秋葉山常夜燈
天保2年(1831年)



浜に下りた。砂浜が足に優しい。皆で童心に返り楽しんだ。

思わずパット・ブーンの「砂に書いたラブレター」を口ずさんだのは私だけか。海では大勢のサーファーが、波待顔で浮いていた。何故か「ラッコ」を連想してしまった。

防波堤を歩く。Tさんが生まれはこの辺と教えてくれた。旧姓はこちらに多いKと言った。



映画「砂の器」のワンシーンのようだ

ようやく昼食予定の伊東マリン・パークに到着。連休のイベント最中で大勢の観光客で賑わっている。フラダンスを眺めながら弁当を広げた。どうやら地元のおばさん達のようなのである。何故なら下半身がかなり緩んだ方が居たからだ。流行の「千の風になって」をフラでやったが案外良かった。

昼食後、ブラブラしていたら「餅まき」を始めた。帽子を逆さに持ちキャッチ。結果、11個収穫だった。「餅まき」を知らなかった女性会員が悔しがることしきりでした。

東林寺

伊東市内に入り松川沿いに東林寺に向かう。松川には、カモメ・カモが遊んでいた。東林寺は少し分かりづらい。

本堂で読経。本当はここで法話を頂く予定だったが住職が出掛けて不在のため聞くことが出来なかった。

ここでは先日、下見の際「達磨忌」という行事をやっていた。沢山のお坊さんがお経を唱えながら、本堂をグルグル廻ってい



た。

左手山上に曾我兄弟の墓があるので、皆さん、ゾロゾロと見学に行った。また、「河津掛け」をあみだした、河津三郎祐泰(曾我兄弟の父)墓もあるようだ。

今日の巡礼は20Kmの長丁場だったが、まだ14時過ぎと極めて順調だった。次回のために「少し稼ごうか」の意見もあったが、疲れている方もいるので予定通り市内の「山喜旅館」に向かった。



山喜旅館で入浴休憩

伊東マリン・パークで昼食



東林寺で記念撮影